

# 令和5年度事業報告書

## 1. 概況

令和5年度の我が国の状況は、5月に新型コロナの感染症法上の位置づけが5類感染症に移行し、年明けの春闘において高い賃上げの動きがみられるなど、コロナ禍後の社会活動の正常化が進み、経済の回復基調を取り戻しつつある中、世界的なエネルギー・食料等の価格高騰などの懸念は根強く残っています。

このような状況下で、我が国の総人口は前年を約60万人下回る1億2,435万人となり、高齢者人口も前年同月を下回りました。

また、定年後にも引き続き就労できる環境整備が進んだことなどから、シルバー人材センターの会員数は、全国的に減少しています。

南知多町においても、人口移動による社会増減、出生・死亡による自然増減がともにマイナスで推移しており、令和5年度末の総人口は1万5,772人で、前年度より350人減少しました。60歳以上の人口は7,703人で、総人口に占める割合は、前年度より0.7ポイント上昇して48.8%となりました。

平成3年の設立当時61名だった当センターの会員数は、令和元年度には143名と順調に増えてきましたが、その後はやや減少傾向に移行し、令和5年度末の会員数は、128人（男88人、女40人）で、前年度と同数となりました。

当センターの運営について、6月の定時総会は感染症対応が緩和されたことやワクチン接種が進んだことなどから、4年ぶりに来賓の臨席のもとで通常開催となりました。12月には安全講習会を開催するとともに、社会貢献事業として事務所周辺や公共施設の草刈り・剪定などボランティア活動を実施し、地域の環境美化を推進しました。

また、2月には会員研修会として、知多市シルバー人材センターの視察研修を実施するなど、会員の健康と安全を最優先に、高齢者の持つ知識と経験を社会に生かすシルバー人材センター事業の推進に取り組みました。

当年度の経営状況は、受託事業の受取配分金が3,814万899円と前年度に比べ472万3,119円（11.0%）の大幅な減少となり、受取材料費も416万6,581円と、48万9,795円（10.5%）減少しました。一方で、事務費の率を10%から12%に引き上げたことにより受取事務費は28万1,326円の増加となり、受取補助金も183万6,000円の増額となりましたが、経常収益の合計は、5,966万7,743円で、前年度に比べ320万8,068円の減少となりました。

経常費用は、支払配分金や支払材料費などが減少したことから前年度より474万2,769円減少して5,817万3,824円となりました。収支差引は、149万3,919円の黒字となり、当年度の正味財産期末残高は、584万1,574円となりました。

## (1) シルバー人材センター事業

### ① 就業受注事業

就業を希望する会員に対し、各種の就業機会を確保し提供しました。

また、家事支援事業として、高齢者世帯などの日常生活を応援し、その自立した生活の継続を支援しました。

### ② 各種研修会・講習会、職群班研修事業

センター事業を円滑に実施するため、役員及び会員を対象とした各種研修（講習）会を始め、リモート会議等に参加し、意識啓発と能力向上に努めました。

### ③ 安全・適正就業対策事業

事業の実施に当たり、会員の安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図り、安全かつ適正な就業を行うため、安全委員会を始め安全就業パトロールや会員講習会を開催しました。

### ④ 普及啓発事業

会報誌である「南知多町シルバー通信」を年2回発行し、センターの活動と運営状況を会員や関係者及び地域に広く周知し、会員の新規加入を促進するとともに受託業務の受注拡大に努めました。

### ⑤ 調査研究事業

シルバー人材センター事業の推進と会員の能力や技術の向上を図るため、独自事業に取り組む知多市シルバー人材センターの視察研修会を開催し、合わせて会員相互の親睦を深める体験交流を実施しました。

## (2) 実施報告

### ① 法人運営体制の整備と強化

定時総会を始め、理事会、会計監査会を開催し、会員主体のセンター運営に努めました。

開催回数 定時総会 1回、 理事会 5回、 会計監査会 4回

### ② 会員の加入促進

地域・各種団体と密接な連携を保ちながら事業の普及啓発を継続し、女性会員を始め、広く新規会員の加入促進に努めました。

### ③ 就業機会確保普及啓発の推進

当センターホームページを始め、年2回発行する「シルバー通信」や啓発用チラシ等により、積極的な情報発信を行うとともに、先進団体の視察研修を通して新たな独自事業の検討を行いました。

会員研修会（先進団体視察） 参加者数 会員15名

④ 安全就業・適正就業

会員の就業中及び就業途上の事故防止を図るため、安全委員会及び安全講習会を開催するとともに、センター独自の安全パトロールを実施し、安全就業の一層の向上に努めました。

安全委員会	開催回数	3回
安全講習会	開催回数	1回
安全パトロール (センター単独実施)		1回

⑤ 会員の就業意識の改革

安全で快適な地域社会づくりに貢献し、センター事業の発展に寄与された会員を表彰し、就業意欲の向上を図るとともに、シルバー人材センターを広く周知するため、会員によるボランティア活動（環境美化）として、南知多J A会館及び公共施設（豊浜防災センター）の草刈及び剪定作業などを実施しました。

会員就業規約に基づく会員表彰

表彰状 (10年連続就業) 4名

ボランティア活動

実施回数 1回 参加者数 28名

⑥ 有料職業紹介事業の推進

県連合会と連携し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、職業紹介事業の実施体制の整備に努めました。

⑦ シルバー派遣事業の実施

県シルバー人材センター連合会の実施事業所として高年齢者の派遣事業を実施しました。 実施事業所数 1事業所

⑧ 公益社団法人としての適正な運営体制の充実と強化

役員を中心に公益社団法人として社会の変化に的確に対応しながら、地域に貢献し、法令に基づき、適正かつ効率的な法人運営に努めました。